

令和7年度第2回 生命地域妙高環境会議 入域料部会 次第

日 時：令和8年2月2日（月）

15時00分から

会 場：妙高市役所4階402会議室

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 議題

(1) 令和7年度入域料収受結果について（報告）

(2) 令和7年度入域料事業の報告について（見込）

(3) 令和8年度入域料事業の方針（案）について

4 その他

5 閉 会

令和7年度 入域料部会委員名簿

R7.1.1現在

	委員枠	所属	氏名	役職	備考
1	学識経験者	東京農工大学 名誉教授	土屋 俊幸	部会長	
2	学識経験者	新潟ライチョウ研究会 代表	長野 康之		
3	自然環境保全 団体	新潟県生態研究会 会長	藤本 孝昭		
4	観光事業者	妙高ツーリズムマネジメント 事務局長	濁川 博		
5	山岳ガイド	インフィールド 代表	中野 豊和		
6	林野庁	関東森林管理局 上越森林管理署 署長	松井 章二		
7	新潟県	環境局 環境対策課 自然共生室 室長	川口 晴男		
8	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 課長	鈴木 祥之		
9	環境省	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	秋本 周		
10	妙高市	観光商工課 課長	松橋 守		
11	妙高市	環境生活課 課長	長谷川 賢治		

令和7年度入域料收受結果について（報告）

1. 收受の概要

○期間：令和7年7月1日から令和7年10月31日まで（123日間）

○手法：笹ヶ峰登山口 ・ 収受員による收受

（概要） 土日祝日等 AM5：00～AM10：00 で実施
各1名 合計22日間（R5：37日間、R6：29日間）

収受員配置時は現金及びPayPayでの收受

- ・ 平日及び土日祝日等の収受員を配置しない時は入域料箱による收受
- ・ YAMAPと連携した登山保険付き入域料による收受（キャッシュレス決済）
- ・ Syncableによる收受（キャッシュレス決済）

燕温泉登山口 ・ 入域料箱による收受

※2か所（登山口、駐車場）に設置し、見落とし防止を図った

- ・ センサーライトで入域料箱を照らし深夜早朝の視覚誘導を図った

新赤倉登山口 ・ 入域料箱による收受（スカイケーブルの営業に合わせて7/18～10/31）

※令和5年度より、スカイケーブル乗場に設置

ビジターセンター ・ 入域料箱による收受

共 通 ・ 返礼品として木製キーホルダー、ライチョウピンバッジ（妙高山・火打山の2種類）、携帯トイレを配布

※ライチョウピンバッジは1,000円以上の寄付者への返礼品

2. 入域料協力金額

（単位：円）

		7月	8月	9月	10月	合計
笹ヶ峰 登山口	R6	722,552	971,937	755,440	1,251,144	3,701,073
	R7	1,180,749	1,126,422	636,546	719,470	3,663,187
燕温泉 登山口	R6	156,413	187,325	169,027	437,158	949,923
	R7	298,957	295,359	184,808	294,477	1,073,601
新赤倉 登山口	R6	—	—	—	75,964	75,964
	R7	22,345	43,110	8,600	44,360	118,415
VC	R6	79,162	14,755	54,119	100,539	248,575
	R7	未回収	未回収	未回収	250,297	250,297
合 計	R6	958,127	1,174,017	978,586	1,864,805	4,975,535
	R7	1,502,051	1,464,891	829,954	1,308,604	5,105,500

※キャッシュレス決済分の収受金については、笹ヶ峰登山口に合算

【合計額の収受方法の内訳】

現金：4,805,945円 PayPay：254,342円 YAMAP 保険付き：39,000円 Syncable：6,213円

3. 入域料協力率（笹ヶ峰登山口）

(1) 笹ヶ峰登山口において収受員を配置した時間帯の協力率

年度	協力率 (寄付者/登山者)	寄付者数	登山者数	寄付額	配置日数
令和2年度	80.3%	4,122人	5,133人	—	38日
令和3年度	82.9%	4,687人	5,656人	2,114,450円	45日
令和4年度	83.0%	4,044人	4,874人	2,149,115円	43日
令和5年度	76.7%	3,199人	4,173人	1,436,996円	37日
令和6年度	80.5%	2,691人	3,343人	1,396,978円	29日
令和7年度	84.4%	2,178人	2,580人	1,202,592円	22日

(2) 笹ヶ峰登山口の寄付額を一人500円として想定、寄付総額を500円で割り返した数を寄付者数と仮定し、登山者数で割り返した協力率

年度	協力率 (寄付者/登山者)	寄付額	寄付者数	登山者数
令和2年度	58.7%	3,370,187円	6,740人	11,490人
令和3年度	65.6%	3,620,567円	7,241人	11,036人
令和4年度	65.3%	3,619,995円	7,240人	11,093人
令和5年度	60.7%	3,827,490円	7,655人	12,610人
令和6年度	69.5%	3,701,073円	7,402人	10,646人
令和7年度	82.9%	3,663,187円	7,326人	8,834人

※登山者数は、入域料収受期間（7～10月）中の合計値

※令和7年度に笹ヶ峰登山口の登山者カウンターの入れ替えを行い、登山者の算出方法に変更が生じたため、登山者数の数値が令和6年度から著しく変動しているもの。

→令和6年度までは、入れ替え前のカウンターの性能（複数人の集団で通過した場合、1カウントとなってしまうこと）を考慮し、1カウントを3人として登山者数を算出していた。

【例】 3人で通過 → 1カウント

対して、入れ替え後のカウンターは、複数人の集団で通過した場合にも、通過した人数分のカウントができるため、1カウントを1人として登山者数を算出した。

【例】 3人で通過 → 3カウント

■収受期間の気象情報（参考情報）

（1）収受期間である7月～10月の気象情報

年度	項目	7月	8月	9月	10月	合計
令和6年度	晴（日）	4	11	10	9	34
	曇（日）	22	19	15	17	63
	雨（日）	5	1	5	5	16
	日照時間（H）	118.8	127.5	118.2	104.7	469.2
	降水量（mm）	222.5	115.5	127.0	158.0	623
令和7年度	晴（日）	19	13	9	6	37
	曇（日）	10	14	12	14	50
	雨（日）	2	4	9	9	24
	日照時間（H）	257.8	193.2	110.6	94.9	656.5
	降水量（mm）	14.5	192.0	291.0	204.0	701.5

※天候（晴・曇・雨）は、tenki.jp「高田（新潟県）の過去の天気（実況天気・2024年7月～10月及び2025年7月～10月）」（参考URLは下記のとおり）をもとに生命地域妙高環境会議事務局で集計して作成。登山は早朝に開始されるため、登山者は入山時間帯の天候で登山の実行を判断していると仮定し、「晴れのち曇り」は「晴れ」としてカウントする。

参考URL（2024年7月）：<https://tenki.jp/past/2024/07/weather/4/18/47612/>

※日照時間・降水量は、気象庁「過去の気象データ検索、関山（新潟県）2024年及び2025年（月ごとの値）主な要素」をもとに生命地域妙高環境会議事務局で作成。

※本気象情報の無断転載は禁止する。

議題（2）

令和7年度 入域料事業の報告について（見込）

- 1 第2次妙高山・火打山地域自然資産地域計画の施行
4月15日 計画の承認（令和7年度 第1回入域料部会）
6月1日 計画施行

2 入域料充当事業

（1）ライチョウ保護対策事業

※一般会計（クラウドファンディングを含む）と合算事業

予算額 640,000円 決算見込額 630,643円

（一般会計との合算 予算額 3,200,000円 決算見込額 3,153,215円、
うち、一般会計分 予算額 2,560,000円 決算見込額 2,522,572円）

①令和7年度妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額 340,000円 決算見込額 327,800円

（一般会計との合算 予算額 1,700,000円 決算見込額 1,639,000円、
うち、一般会計分 予算額 1,360,000円 決算見込額 1,311,200円）

※下線は委託料総額

場 所 ライチョウ平事業区

内 容 ・環境改善事業

（イネ科植物除去作業）

・センサーカメラ調査

・ライチョウ捕食者に係る糞採取



イネ科植物除去作業

②令和7年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額 200,000円 決算見込額 198,000円

（一般会計との合算 予算額 1,000,000円 決算見込額 990,000円、
うち、一般会計分 予算額 800,000円 決算見込額 792,000円）

※下線は委託料総額

場 所 火打山及び焼山周辺

内 容 個体数調査等

結 果 ~取りまとめ中~



火打山のライチョウ（令和7年8月）

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

予算額 100,000 円 決算見込額 100,000 円

(一般会計との合算 予算額 500,000 円 決算見込額 500,000 円、
うち、一般会計分 予算額 400,000 円 決算見込額 400,000 円)

※下線は委託料総額

内 容 上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算見込額 4,843 円

(総額：24,215 円のうち、一般会計分 決算見込額 19,372 円)

(2) 登山道整備事業

予算額 1,660,000 円 決算見込額 1,057,943 円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業（市実施事業費へ充当）

予算額 1,500,000 円 決算見込額 947,100 円

場 所 妙高山登山道 大谷ヒュッテから天狗堂方面等（約 680mの区間）

※詳細は別紙のとおり

内 容 過去の近自然工法による整備箇所等の修復



修復前



修復後

②火打山登山道足洗い場設置

予算額 50,000 円 決算見込額 2,922 円

場 所 笹ヶ峰登山口付近

内 容 足洗い場の設置（令和5年度から）
6月30日設置、11月4日撤去



足洗い場

③登山者カウンター設置

予算額 110,000 円 決算見込額 106,700 円

場 所 笹ヶ峰登山口付近

内 容 登山者カウンターの更新

④その他材料費及び振込手数料等

決算見込額 1,221 円

(3) オオハンゴンソウ駆除事業 ※一般会計と合算事業

予算額 300,000 円 決算見込額 270,468 円

(一般会計との合算 予算額 400,000 円 決算見込額 360,624 円、

うち、一般会計分 予算額 100,000 円 決算見込額 90,156 円)

場 所 笹ヶ峰高原、燕温泉登山口周辺、いもり池周辺

内 容 ・特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除

・笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託

(空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査及び生育密度調査)



笹ヶ峰高原



燕温泉登山口 (薬師堂前)

(4) 高層湿原保全事業 ※一般会計と合算事業

予算額 500,000 円 決算見込額 495,589 円

(一般会計との合算 予算額 700,000 円 決算見込額 693,825 円、

うち、一般会計分 予算額 200,000 円 決算見込額 198,236 円)

内 容 ・火打山高谷池・天狗の庭湿原における植生資料、気象データ、
保全対策に係る既存文献等の収集・整理

・現地調査の手法検討及び実施計画(案)の作成

(火打山高谷池・天狗の庭湿原環境調査実施計画作成業務委託)

(5) 携帯トイレ普及事業

予算額 60,000 円 決算見込額 39,600 円

- 内 容
- ・ 笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口、妙高高原ビジターセンターにおける携帯トイレの配布（入域料の返礼品） 配布戸数：112 個
 - ・ 笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスを設置し、定期的な廃棄物の回収
 - ・ トイレブースの設置（妙高山登山道：天狗堂、火打山登山道：オオシラビソ林）



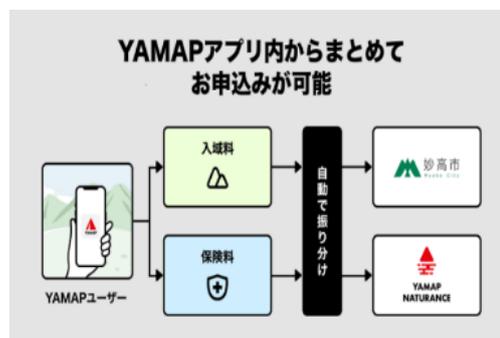
トイレブース



携帯トイレ回収ボックス

3 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典を受けることができる取組の実施
 - ・ 妙高高原ふれあい会館：入浴料の割引
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
 - ・ 環境会議ホームページによる実施結果の公表
 - ・ 各収受場所におけるポスターの掲示
- (3) 登山保険付き入域料
 - ・ YAMAPと連携した登山保険付き入域料の仕組みを継続
 - ・ 利用者 78人（4月～12月末）



議題（2）

令和7年度 入域料特別会計決算報告について（見込）

1. 歳入

（単位：円）

款	項	目	予算	決算	差引	備考
1	負担金	1 負担金	120,860	119,815	△ 1,045	会議費に対する市からの負担金
2	協力金	1 協力金	4,800,000	5,105,500	305,500	入域料総額
3	繰越金	1 繰越金	5,385,508	5,385,508	0	前年度繰越金
4	諸収入	1 諸収入	93,632	4,935	△ 88,697	決算利息
合計			10,400,000	10,615,758	215,758	

2. 歳出

（単位：円）

款	項	目	予算	決算	差引	備考
1	運営費	1 会議費	120,860	119,815	△ 1,045	部会謝金等
		2 事務費	200,000	11,437	△ 188,563	・収受にかかる消耗品 ・登山保険付き入域料手数料 ほか
		3 広告費	200,000	98,505	△ 101,495	告知チラシ等
2	事業費	1 ライチョウ保護対策事業	640,000	630,643	△ 9,357	・ライチョウ生息地回復調査業務委託 ・頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託 ・ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
		2 登山道整備事業	1,660,000	1,057,943	△ 602,057	・登山道整備業務委託負担金 ・笹ヶ峰登山口 登山者カウンター更新 ほか
		3 オオハンゴンソウ駆除事業	300,000	270,468	△ 29,532	・駆除作業保険代金 ・笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託 ほか
		4 高層湿原保全事業	500,000	495,589	△ 4,411	火打山高谷池・天狗の庭湿原環境調査実施計画作成業務委託
		5 収受員賃金	400,000	194,007	△ 205,993	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		6 調査員賃金	0	0	0	
		7 燕管理費	60,000	61,049	1,049	燕登山口収受・返礼品管理
		8 協力者記念品	1,600,000	1,520,684	△ 79,316	・ピンバッジ800個（妙高山・火打山 各400個） ・木製キーホルダー10,000個 ほか
		9 携帯トイレ普及事業	60,000	39,600	△ 20,400	携帯トイレ150個
		2 繰越事業費	1 繰越事業費	4,565,508	6,116,018	1,550,510
3	予備費	1 予備費	93,632	0	△ 93,632	
合計			10,400,000	10,615,758	215,758	

【戻入額の考え方】市負担金の会議費については、精算して返納する。

市負担金 120,860円－会議費支出 119,815円＝市会計への戻入額 1,045円

令和8年度 入域料事業の方針（案）について

1 入域料の收受実施内容

（1）收受場所

- ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口
- ④妙高高原ビジターセンター ⑤インターネットを利用した事前決済

（2）收受期間

令和8年7月1日（水）から10月31日（土）まで

（3）收受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日等の登山者が多く見込まれる日の午前5時から午前10時まで収受員を配置し、收受を行う。
- ・収受員賃金等の收受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和7年度を上限とし、削減を進める。
- ・収受員配置時は、PayPayでの收受も受け付ける（R5年度から導入）。
- ・収受員を配置しない時間は、入域料箱による收受を行う。

②燕温泉登山口

- ・終日入域料箱による收受を行う。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による收受を行う。

④妙高高原ビジターセンター

- ・入域料の取組の周知を目的に、入域料箱による收受を行う。
（施設開館時のみ）

⑤インターネットを利用した事前決済

- ・Syncableによる事前決済（R3年度から導入）
- ・YAMAPと連携した登山保険付き入域料による事前決済（令和6年度から導入）

（4）金額

500円（任意）

（5）返礼品

- ・木製キーホルダー
- ・携帯トイレ
- ・ライチョウピンバッジ（妙高山・火打山の2種類、1,000円以上の寄付者）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

※一般会計（クラウドファンディングを含む）と合算事業

予算額 640,000 円（一般会計との合算 予算額 3,200,000 円
うち、一般会計分 予算額 2,560,000 円）

①令和8年度妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額：340,000 円（一般会計との合算 予算額 1,700,000 円
うち、一般会計分 予算額 1,360,000 円）

場 所：ライチョウ平事業区

内 容：・環境改善事業（イネ科植物除去作業）
・センサーカメラ調査
・ライチョウ捕食者に係る糞調査

②令和8年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額：200,000 円（一般会計との合算 予算額 1,000,000 円
うち、一般会計分 予算額 800,000 円）

箇 所：火打山及び焼山周辺

内 容：・繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査
・大型哺乳類の生息実態調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

予算額：100,000 円（一般会計との合算 予算額 500,000 円
うち、一般会計分 予算額 400,000 円）

内 容：上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析

(2) 登山道整備事業

予算額 2,200,000 円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業（市実施事業費へ充当）

予算額：2,000,000 円

箇 所：妙高山登山道 天狗堂から光善寺池上 ほか

※詳細は別紙のとおり

内 容：洗堀箇所の登山道整備、周辺の植生回復対応（近自然工法）

②火打山登山道足洗い場設置

予算額：50,000 円

箇所：笹ヶ峰登山口付近

内容：足洗い場の設置、維持管理

③登山道整備資材購入

予算額：150,000 円

内容：登山道整備のための資材購入

(3) オオハンゴンソウ駆除事業

予算額：300,000 円（一般会計との合算 予算額 400,000 円
うち、一般会計分 予算額 100,000 円）

箇所：笹ヶ峰高原、燕温泉登山口周辺、いもり池周辺

内容：・特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除
・笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託
(空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査及び生育密度調査)

(4) 高層湿原保全事業

予算額：1,000,000 円（一般会計との合算 予算額 1,400,000 円
うち、一般会計分 予算額 400,000 円）

内容：現地確認踏査

※令和7年度業務で検討した事項を今後反映

(5) 携帯トイレ普及事業

予算額：60,000 円

内容：・携帯トイレの普及啓発、利用者実態調査の実施
・各登山口などでの携帯トイレの配付（入域料の返礼品）
・携帯トイレ回収ボックス、トイレブースの設置

3 その他

(1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（入浴の割引など）を受けることができる取組の継続、拡大検討

(2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）

【別紙】 整備箇所詳細



議題（3）

令和8年度 入域料特別会計予算（案）について

1. 歳入

（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	前年比	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	120,860	120,860	0	会議費に対する市からの負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,900,000	4,800,000	100,000	@500円×9,800名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	6,116,018	5,385,508	730,510	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	93,122	93,632	△ 510	預金利息等
		合計	11,230,000	10,400,000	830,000	

2. 歳出

（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	前年比	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,860	120,860	0	部会謝金等
	2 事務費	1 事務費	200,000	200,000	0	・収受にかかる消耗品 ・登山保険付き入域料手数料 ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	200,000	0	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ 保護対策事業	640,000	640,000	0	・ライチョウ生息地回復調査業務委託 ・頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握 調査委託 ・ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
		2 登山道整備事業	2,200,000	1,660,000	540,000	・登山道整備業務委託負担金 ・火打山登山道足洗い場設置 ・登山道整備資材購入 ほか
		3 オオハンゴンソウ 駆除事業	300,000	300,000	0	・駆除作業保険代金 ・駆除作業評価業務委託
		4 高層湿原保全事業	1,000,000	500,000	500,000	現地確認踏査
		5 収受員賃金	300,000	400,000	△ 100,000	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		6 調査員賃金	0	0	0	
		7 燕管理費	70,000	60,000	10,000	燕登山口収受・返礼品管理
		8 協力者記念品	1,600,000	1,600,000	0	・木製キーホルダー（@110円×10,000個） ・ピンバッジ（@440円×400個×2種） ・ピンバッジ台紙作成・印刷
		9 携帯トイレ普及事業	60,000	60,000	0	携帯トイレ（@250円×240個）
	2 繰越事業費	1 繰越事業費	4,440,000	4,565,508	△ 125,508	次年度以降の事業等へ充当
3 予備費	1 予備費	1 予備費	99,140	93,632	5,508	
		合計	11,230,000	10,400,000	830,000	